

バイオエコノミー産業創出支援部会（補助金審査会 委員審査）について

広島県商工労働局補助金等審査会
バイオエコノミー産業創出支援部会

1 会議の概要

開催日時	令和7年5月20日（火）13時30分～16時30分		
開催場所	本館B2会議室（広島県庁本館地下1階）		
開催方法	対面方式及びオンライン方式を併用		
出席委員名	・農林水産関係事業コーディネーター（外部有識者） ・広島県総務局研究開発課長 松浦 弘典 ・広島県農林水産局農業技術課長 月岡 繁彦 ・広島県商工労働局バイオ・ヘルスケア産業課長 畝 智博		
議題	(1) 部会長の選任について (2) 令和7年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画の審査について		
担当部署	商工労働局バイオ・ヘルスケア産業課		

2 議事要旨

(1) 部会長の選任

広島県商工労働局補助金等審査会運営要綱（以下「審査会運営要綱」という。）第3条第4項に基づき、委員の互選により、畝智博委員を部会長に選任した。

(2) 令和7年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画書の審査

次の審査基準により、募集期限までに提出のあった5件について審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウェイト	応募者（順不同）				
			A	B	C	D	E
1 事業の妥当性	a 課題解決の的確性	× 1	3.8	3.5	3.8	3.8	4.0
	b 市場ニーズの妥当性		4.0	3.5	3.5	3.8	3.8
	c 補助事業の必要性・有効性		3.5	3.5	3.5	3.8	3.8
	d 事業内容の新規性・優位性		4.0	3.8	4.0	4.3	4.3
2 事業内容、実施方法の妥当性	e 事業結果（アウトプット）の妥当性	× 2	6.0	7.5	6.5	7.0	7.0
	f 実施体制の実効性・遂行能力①（経営資源）		7.5	6.0	8.0	8.0	8.5
	g 実施体制の実効性・遂行能力②（財務状況）		6.0	6.0	6.5	6.5	6.5
	h 事業経費の妥当性		6.0	6.0	6.5	6.5	6.5
	i 実施計画の妥当性		6.0	6.5	7.0	6.5	6.5
3 事業成果への期待度	j 事業効果（アウトカム）の妥当性・本県への経済波及効果	× 3	11.3	10.5	9.0	10.5	11.3
	k 事業化ロードマップの合理性		9.0	9.0	9.8	9.8	9.8
合 計 点 数			67.1	65.8	68.1	70.5	72.0
採 否			採択		採択	採択	採択

※本結果は、4名の委員の平均点によるものであり、基準点60点（100点満点）。

- ・審査における、各委員からの意見は次のとおり。

応募者	意 見
A	・新たな商品の開発という目的の明確性が高い。 ・本県経済へ貢献する取組であることが明確である。
B	・ニーズの高い環境負荷低減につながる取組である。 ・農業分野での多様な貢献が見込まれる。
C	・これまで長い年数を要していたものを短縮できる技術は魅力がある。 ・現場での実用化やいろいろな産業の育成につながる取組である。
D	・専門性を生かした開発であり、企業の競争優位性を高める取組である。 ・あまりメジャーでない課題に取り組んでいくことは価値がある。
E	・開発により現在の問題を解決し、ニーズに応えることができる。 ・既に保有している知見や開発してきた技術を有効にかつ発展的に活用できる取組である。

- ・上記の審査の結果、次の4者について、採択が適当と認められた。

(株)フェニックスバイオ、フマキラー(株)、(株)FOOD & LIFE COMPANIES、プラチナバイオ(株)